平成18年1月10日第3種郵便物承認　平成22年2月1日発行（毎月1回1日発行）第6巻第2号　通巻第53号

安全運転管理 OSAKA

大阪

Safety Driving & Traffic Education.

2010 2 February

監修　大阪府警察本部交通部
発行　財団法人大阪府交通安全協会
（大阪府交通安全活動推進センター）

飲酒運転根絶のためのハンドルキーパー運動推進中！

～ ハンドルキーパー運動に参加しましょう ～

ハンドルキーパー運動とは、自動車で仲間と飲食店などに行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が、仲間を自宅まで安全に送り届ける運動です。

藤本会長

交通安全優良事業所賞受賞（平成21年度）

藤本窯業㈱
（富田林市）

従業員数／50人
車両台数／45台

自らを守るという意識を高めて事故防止に最大限の努力をする

藤本窯業㈱は屋根材の販売・施工会社として昭和32年に創業しました。現在は屋根材、各種ボード製品、外壁材、太陽光発電システムの卸・販売・施工を行っています。

●かけがえのない自分を知ることで安全を確保する

同社では藤本会長の「災害を起こして泣くなら笑って防げ」という言葉が事故防止の源になっています。つまり、事故を起こして痛い目にあい、事故処理に追われるよりも、事故を起こさないことが第一であるという考えのもとに、従業員一人ひとりが自分を守るという意識を大切にしています。

安全意識を高める取組みの一つとして、毎年開催している安全大会があげられます。

安全大会では「かけがえのない自分を知って事故防止に努める」ことを再認識し、安全確保の重要性を確認しています。

また、毎週月曜日の朝礼と金曜日のミーティングにおいても、情報伝達などを通じて安全啓発を行っています。

●年に2回全車集中点検を実施

事故を未然に防ごうという観点から、点検・整備に力を入れています。車両の不具合による事故防止のため、毎日、各自が担当車両の点検を行い、車両日報に記録しています。また、お盆とお正月の時期に整備工場に依頼して全車集中点検を行っています。

この集中点検によって、車両の不具合はもちろん、クラッチの減り方などから従業員の運転のクセもわかりますから、運転を指導する際にも役立っています。

●新車を与えて安全意識を高める

同社では、現場に資材を運搬する関係上、1人に1台の車を割り当てています。

以前は中古の車を割り当てていたので、車をあまり大事に扱わなかったのですが、あるときから、新車を与え、色も白に統一するようにしました。すると車も新しく、白色は汚れも目立つことから、車を大切にするようになり、運転が丁寧になりました。

新車を与えたことで、従業員の意識が変わり、交通事故件数も減少しました。

●無事故・無違反チャレンジコンテストで安全意識を高める

無事故・無違反チャレンジコンテストには大阪府大会が始まってから全員で参加しています。

5つある部署ごとにチーム分けを行っており、競争意識を持ちながら取り組んでいます。参加費の負担はもちろん、無事故・無違反であれば会社からも表彰するなどして、バックアップしています。

毎年開催している安全大会